

神奈川県立神奈川大学附属中学校

2024年度中学入試報告会



算 数 【帰国生】

出題方針・ねらい

◆基本～標準レベルの問題

2024年度入試 出題内容

大問	出題内容
1	計算問題（5問）
2	小問集合（6問）
3	図形（立体）
4	割合と比（グラフ）
5	条件の整理

2024年度入試結果概要【帰国・算数】

		算数
受験者	最高点	100
	最低点	18
	平均点	63.8
合格者	最高点	100
	最低点	35
	平均点	75.8

点数	受験者	合格者
96~100	5	5
91~95	3	3
86~90	2	1
81~85	3	2
76~80	3	3
71~75	6	5
66~70	2	2
61~65	5	4
56~60	2	
51~55	2	2
46~50	3	
41~45	4	1
36~40		
31~35	3	1
26~30	1	
21~25	4	
~20		
合計	48	29

2024年度入試結果【帰国・算数】

「**正答率・問いのねらい・講評**」を本校ホームページに掲載しています。

◆2024年度 中学入試 帰国生【算数】 正答率・問いのねらい・講評

大問	問	正答率		問いの内容・ねらい	講評
		受験者	合格者		
1	(1)	97.9%	96.6%	整数・小数・分数を使った四則計算や、計算の工夫を利用する問題を出題。基本的な計算を正確にできるかどうかをねらいとしている。	小数・分数の四則計算の問題から、合否の差が出た。 日々計算練習に取り組み、基本的な計算力を身に着ける必要がある。
	(2)	87.5%	93.1%		
	(3)	87.5%	93.1%		
	(4)	68.8%	79.3%		
	(5)	81.3%	89.7%		
	(1)①	91.7%	96.6%	割合の問題や、特殊算、平面図形などの小問集	「年齢算」「速さと比」「平面図形」の問題で

今年度の入試を振り返って

◆ 1 計算問題

例年通り正答率が高いが、

(4)・(5)は全体の正答率が少し低かった。

$$(4) \quad \frac{1}{3} \times 2.56 + \frac{1}{6} \times 6.68 - \frac{1}{9} \times 4.2 = \square$$

$$(5) \quad \left(13 \div 4 - \square\right) \times 6 + \left(\frac{1}{2} + 3.5 \times 2\frac{2}{5}\right) = 20$$

今年度の入試を振り返って

◆ 2 小問集合

ここから少しずつ合格者と不合格者の間に
正答率の差が見られる。

今年度の入試を振り返って

◆ 2 小問集合

合格者と不合格者の間に正答率の差があった問題①

例) 2 (4)

(4) 現在, 母の^{ねんれい}年齢は, 兄と弟の年齢の和の4倍です。8年後, 母の年齢は, 兄と弟の年齢の和の2倍になります。

① 現在, 母は何^{さい}歳ですか。

② 母の年齢と, 兄と弟の年齢の和が等しくなるのは, 現在から何年後ですか。

今年度の入試を振り返って

◆ 2 小問集合

合格者と不合格者の間に正答率の差があった問題②

例) 2 (5)

(5) 長さの比が2:3である電車Aと電車Bがあります。電車Aと電車Bが電柱の前を通過するのにかかる時間は、どちらも6秒です。また、電車Bが990mの橋を通過するのに、1分12秒かかります。

- ① 電車Bの速さは秒速何mですか。
- ② 電車Aがこの橋を通過するのにかかる時間は何分何秒ですか。

今年度の入試を振り返って

◆ □3 ~ □5

□2と同様に、合格者と不合格者の間に
正答率の差が見られる。

今年度の入試を振り返って

◆ 正答率に差が見られた問題

例)

3

3 高さが等しく底面積が異なる3つの直方体の容器 A, B, C があります。A には 56 cm の高さまで水が入っていて、B と C は空です。A と B の水面の高さが同じになるように、A の水の一部を B に移すと、高さは 35 cm でした。さらに、A と B と C の水面の高さがすべて同じになるように、A と B の水の一部を C に移すと、高さは 28 cm でした。

(1) A と B の底面積の比を最も簡単な整数の比で表すといくらですか。

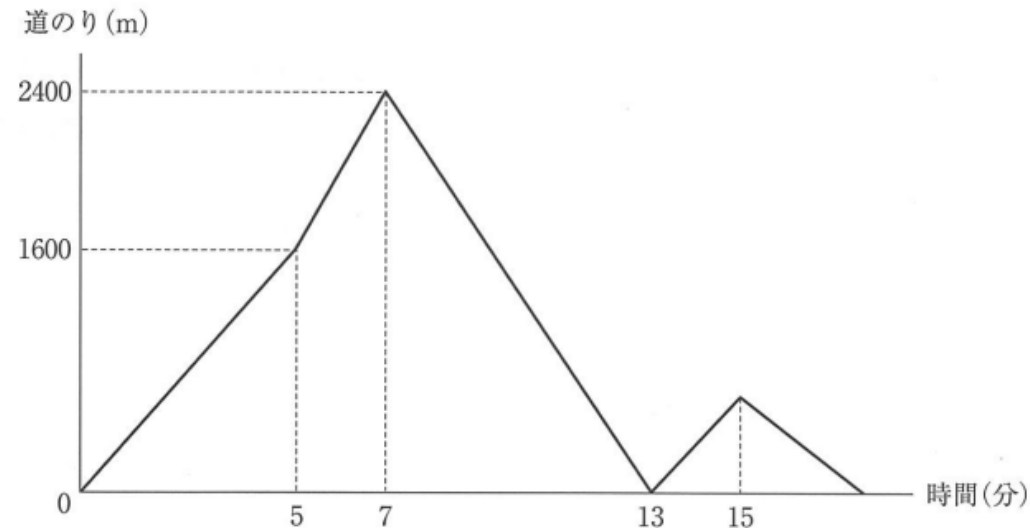
(2) A と C の水面の高さが同じになるように、B に入っている水をすべて A と C に移すと、高さは何 cm ですか。

今年度の入試を振り返って

◆ 正答率に差が見られた問題

例) 4

- 4 兄と弟が同時に家を出発し、同じ道を通って駅まで行きます。兄は自転車で駅まで行きます。また、弟は徒歩でバス停 A に行き、数分待ってバスに乗り、バス停 B で下車後は徒歩で駅まで行きます。すると、兄と弟は同時に駅に着きました。下のグラフは、2 人が出発してからの時間と、2 人の間の道のりの関係を表しています。また、バス停 A, B は家と駅の間であり、徒歩の速さ、自転車やバスの速さは常に一定です。



今年度の入試を振り返って

◆ 正答率に差が見られた問題の特徴

⇒ いずれの問題も、第1回～第3回の過去問で見かけたことがあるような、問題なので、
しっかりと過去問演習することが重要！

受験生へのメッセージ

- ◆ 計算はミスなくできるように、
毎日計算練習に取り組みましょう！
- ◆ 基礎的な内容を理解できたら、
過去問演習に取り組んで、
本当に理解できているか確認しましょう！